

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	丹波市立氷上中学校 職・氏名 教諭 今中 清孝	研究チーム名 ( HEIWAの鐘 )
-----------------	----------------------------	-----------------------

研究テーマ分類番号 ( 1 4 )

(1) 研究テーマ	
子どもたちと共に高め、発信していく平和への意識 ～戦争体験の継承と発信～	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
5月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の研究テーマの設定、研究の計画等を検討した。</li> <li>・本年度の現地研修の場所や聞き取り調査、講演会の内容について検討した。</li> </ul>
6月 1日	<p>「大久野島現地研修の報告と教材作り」</p> <p>場所：市島中学校 参加人数 12名</p> <p>成果：「被爆地ヒロシマ」の戦争被害と大久野島の毒ガス工場に見られる戦争の加害性を考えることができ、授業での実践を通じて現地研修を生かした教材作りに取り組むことができた。</p>
7月 6日	<p>「宝塚ピースマップについての学習会」</p> <p>場所：山南中学校 参加人数 10名</p> <p>成果：現地研修会に向けて、宝塚ピースマップを使って事前の学習会を実施した。自分たちの身近なところに目を向けて戦争を考えることができた。</p>
8月 6日	<p>「宝塚での現地研修及び学習会」「被爆体験の聞き取りと学習会」</p> <p>内容：①宝塚ピースマップを使ったフィールドワークと学習会 ②被爆一世からの戦争体験の聞き取りと学習会</p> <p>講師：宝塚在住の教員・西宮在住の被爆体験者</p> <p>成果と課題：兵庫（宝塚）の戦跡や被爆体験について学習を深めることができた。丹波での調査の必要性を感じた。</p>
9月 7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和カレンダーの見直しを行った。</li> <li>・今年度の平和カレンダーについて内容を検討した。</li> </ul> <p>「宝塚での現地研修の報告会」</p> <p>場所：青垣中学校 人数：11名</p> <p>内容：各自のレポートを発表しあい、学習会を行った。 教材化に向けた取組を進めた。</p>